



あおやぎ

No.277
2019年4月



芹沢の桜（福島県三春）職員提供

- 新院長 就任あいさつ ②
- 最新型CT装置を増設しました ③
- 県民健康講話 ④ ⑤
- ロビーコンサートについて ⑥
- 「看護の日」を知っていますか? ⑦
- がんサロン「ひだまりカフェ」 ⑦
- 外来診療案内 ⑧

県立中央病院の理念と方向性

〈理念〉

県民の健康と生命を支える安心と信頼の医療

- ・患者の権利と意思を尊重し、高度で良質、適正な患者中心の医療を提供します。
- ・医療従事者としての倫理綱領を守ります。
- ・最適ながん医療と生活習慣病対策を推進します。
- ・信頼される救急医療を提供します。
- ・地域医療、福祉との連携をします。
- ・将来を担う医療人の教育、育成を行います。
- ・公共性に配慮した健全な病院経営を目指します。



新院長 就任あいさつ

愛され、親しまれる病院を目指して

院長 武田 弘明



本誌の表紙のような見事な花の季節の到来が毎年ですが待たれます。日頃より当院を受診いただきありがとうございます。平成31年4月より山形県立中央病院・第12代院長を拝命いたしました武田弘明と申します。全力で大任に当たらせていただきます。よろしくお願いいたします。

自己紹介を少しさせていただきます。山形市で生まれ育ち山形大学5期生として入学しました。当時桜町にあった旧病院で1ヶ月間の臨床実習がありましたが、貴重な体験の数々は今でも鮮明に覚えています。卒業後は山形大学第2内科（消化器内科）へ入局し医師としてのスタートを切りました。小腸大腸疾患を主に担当し、診療、教育、研究に従事してきました。平成23年9月に当院へ赴任し医学から医療へ軸足を移し、平成27年よりは副院長（経営改善担当）を経験させていただき現在に至っています。学生時代を含め今日まで患者さん、スタッフ、指導者の方々と接する中で多くのことを学ばせていただきました。学生時代はバレーボール部に所属しておりました。直面する問題に集中してしまう傾向がありますため、今後はより長期的な展望に立つことに留意したいと思っております。

当院は平成13年5月に現在の地に移転しました。一貫して“県民の生命と健康を守る安心と信頼の医療”を理念とし、県民の皆様の期待に応えるべくスタッフ一同頑張っております。当院は、がん・生活習慣病センター、ドクターヘリを有する救命救急センター、総合周産期母子医療センターを併設していることに加え、都道府県がん診療連携病院、基幹災害医療センター、第一種感染症指定医療機関など社会的にも重要な機能を担当しております。地域医療

構想という言葉をご存じでしょうか。高齢化社会にあわせて病院ごとの果たす役目を明確にしていくという国の方針のことです。当院は其中で高度な医療を提供する高度急性期病院を堅持して参ります。AIやロボットを含めて医療機器、医療技術の進歩はめざましいものがありますので、それらの導入も今後検討を続けていきます。本誌でも紹介されていますが懸案となっておりました3台目のCTスキャンが4月から本格的に稼働します。予約の緩和が期待できるだけでなく新しい検査法も試みる予定となっています。さらに当院では医療人の育成も重要な使命のひとつです。医療大学、看護学科の学生実習の受け入れを行っております。また臨床研修指定病院として初期研修医を受け入れておりますが7年連続でほぼフルマッチ（応募定員を100%満たしていること）を続けています。さらに新専門医制度においても基幹プログラムを提供しています。2年前に刊行した“愛され、親しまれる病院を目指して”という当院を紹介する書籍があります。患者さんから愛され親しまれることはもとより、研修医をはじめ病院スタッフ全員にも愛されることが理想です。今後もこの目標を目指して工夫していきたいと思えます。なお、当院に関してお気づきの点がございましたらお知らせいただければと思います。改善に役立てたいと思えます。

さて国の大きな動きのひとつとして“働き方改革”があり、この春から動き出します。医師に関してはまだ議論が続けられていますが、当院が高度急性期病院として皆様が必要とする医療を充分にかつ継続して提供できるようにするために県民の皆様にはご理解とご協力をお願いしたいと思います。

【略 歴】

昭和32年 山形市生まれ
昭和51年 山形県立山形東高等学校卒
昭和58年 山形大学医学部卒
同 第2内科・医員(研修医)
昭和59年 小国町立病院(4カ月間)
山形県立河北病院(1年間)
昭和60年 山形大学医学部附属病院・医員
昭和63年 法務省置賜学院・医務課長(3年間)
平成3年 山形大学第2内科・助手
医学博士号 取得(山形大学)
Michigan大学VA Medical Center留学(2年間)
平成13年 山形大学医学部第2内科・講師
平成15年 同光学医療診療部・副部長(助教授)
平成17年 同部・部長(平成19年より准教授)
平成22年 (兼務)消化器内科・病院教授
平成23年 山形県立中央病院内科(消化器)・第一診療副部長

平成25年 同消化器内科・がん対策部長
平成28年 同消化器内科・副院長兼内視鏡センター長
平成30年 (兼務)山形大学医学部・臨床教授
平成31年 同・院長

【資 格】

日本内科学会総合内科専門医・東北支部評議員、
日本消化器病学会専門医・指導医・学会評議員、
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・社団評議員、
日本消化器がん検診学会認定医、
日本消化器吸収学会・学術評議員、
日本医師会認定産業医、医師臨床研修指導医

【備 考】

山形県生活習慣病検診等管理指導協議会・消化器部会・部会長
山形県医師会消化器検診中央委員会・委員長
山形県医師会代議員、山形市医師会副議長

最新型 CT 装置を増設しました

放射線部CT室 今野雅彦

今年1月より最新型のCT装置 Revolution Frontier (GE社製) を増設しました。2台だったCT装置が3台になり、CT検査の待ち時間が短縮され、より迅速に診断と治療が開始できるようになります。

最新型CTの特長

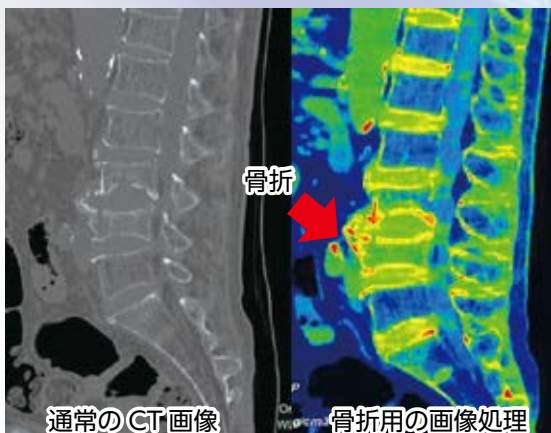
今まで見えなかった病変や見えづかった病変が、より見やすくなりました。すべてCTの画像です。



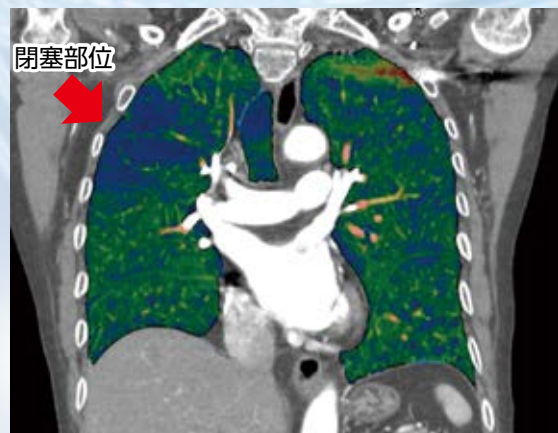
造影剤の使用量を低減できます。



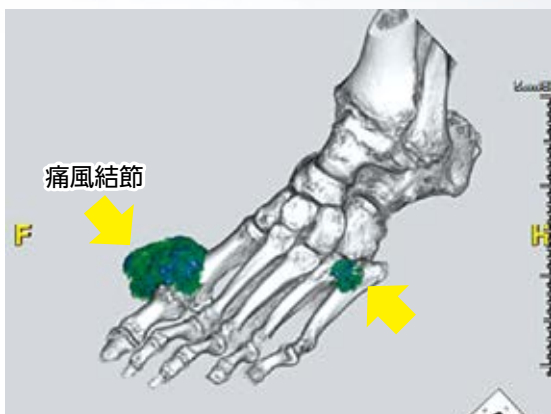
大腸CT検査ができます。(今年8月より)



隠れた骨折を見つけることができます。



肺動脈塞栓症の閉塞領域が特定できます。



尿酸塩の痛風結節を画像化できます。



安全で安心な CT 検査を提供します。スタッフ一同

県民健康講話

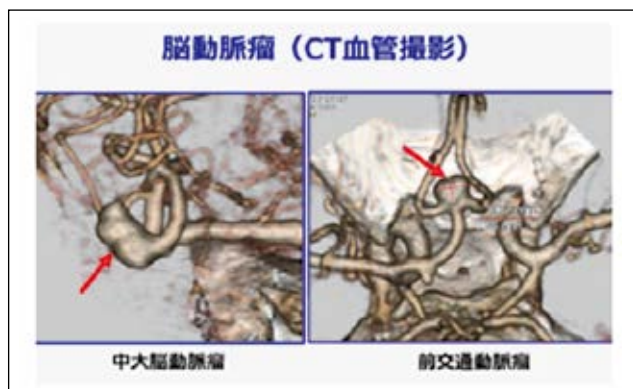
平成30年8月25日(土)に、天童市健康センターにて、「脳卒中をもっと知ろう」というテーマで開催されました。

● くも膜下出血とその予防治療

脳神経外科 熊谷 孝

1. くも膜下出血とはどんな病気？

くも膜下出血は、脳脊髄液で満たされたくも膜下腔を走行する脳動脈に瘤（こぶ）ができ、これが破裂することによって生じる病気です（脳動脈瘤破裂）。日本人に多い病気で、人口10万人に対し年間20人程度発症します。症状は突発する激しい頭痛や意識障害です。片麻痺や言語障害などの後遺症を残したり、重症例では突然死の原因にもなる怖い病気です。



2. 脳動脈瘤はなぜできるか？

遺伝的な素因に加え、高血圧や過度の飲酒、喫煙習慣がその危険を高めるとされています。高血圧を放置すると、血管内皮を障害するとともに血管壁の栄養血管が虚血になり、血管中膜が弱くなって動脈瘤ができやすくなるほか、血行力学的な負荷となって動脈瘤の増大につながります。アルコール摂取は酸化ストレスとなって血管損傷因子の産生に加担します。1日当たり41～120gのアルコール摂取で2.5倍、120g以上の大量アルコール摂取で4.5倍、動脈瘤の危険が高まると言われています。喫煙はさらに大きな影響があり、毎日20本以上の喫煙習慣がある方では、11.1倍も動脈瘤ができやすくなるというデータがあります。

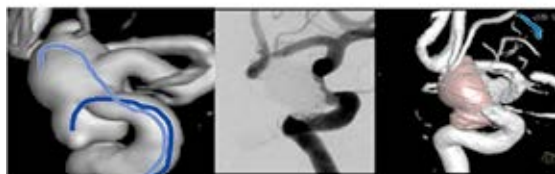
3. くも膜下出血を予防するには？

くも膜下出血を予防するため、たばこ、高血圧、アルコール多飲など補正可能な危険因子をしっかりと制御しましょう。まだ破裂する前の「未破裂動脈瘤」の段階で発見できれば、破裂防止の手術を行うことが有効です。MRI検査の可能な医療機関を受診して検診や脳ドックを積極的に受け、未破裂脳動脈瘤が発見された際には放置せずぜひご相談下さい。くも膜下出血の家族歴のある方には特にMRI検査をお勧めします。

当院では毎年30～40人の患者さんに対して未破裂脳動脈瘤の治療を行っています。大きさ5～7mm以上の動脈瘤や、それ未満でも破裂しやすいとされる部位や形

状の動脈瘤は手術の適応となります。

脳血管内手術（ステント併用コイル塞栓術）



脳動脈瘤の手術法として、脳血管内手術と開頭によるクリッピング手術があります。脳血管内手術はカテーテル治療であり、開頭しなくてよいため脳に対する侵襲が少なく、高齢者や全身合併症を有する方にも行うことができます。しかし頸の広い動脈瘤や大型の動脈瘤では処理の完全性が不十分となる欠点があります。一方開頭クリッピング術は、開頭という侵襲性はあるものの、広頸動脈瘤や大型瘤でも処理の完全性が得られます。それぞれの利点を生かし、使い分けて治療法を選びます。最近では、バルーンやステント併用塞栓術などのデバイスを導入することで、従来治療が難しかった広頸動脈瘤や大型動脈瘤にも脳血管内手術の適応が拡大しています。

● 脳梗塞の予防法と治療を知ろう

神経内科 永沢 光

1. 脳梗塞ってどんな病気？

脳卒中には大きく分けて脳梗塞（脳へ行く血管が詰まる病気）、脳出血（脳内の血管が破れて出血する病気）、くも膜下出血（脳の表面を走る血管が破れて出血する病気）の3種類があります。今回は脳梗塞の特徴と代表的な予防用や治療法について説明させていただきます。

2. 脳梗塞の予防法は？

(表) 脳卒中予防十か条 (日本脳卒中協会)

- 1 手始めに 高血圧から なおしましょう
- 2 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- 3 不整脈 見つかれば 次第 すぐ受診
- 4 予防には たばこを止める 意思を持って
- 5 アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- 6 高すぎる コレステロールも 見逃すな
- 7 お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- 8 体力に 合った運動 続けよう
- 9 万病の 引き金になる 太りすぎ
- 10 脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

日本脳卒中協会は「脳卒中予防十か条」を推奨しています(表)。脳梗塞の発症は生活習慣病が影響します。高血圧や糖尿病、脂質異常症は症状を現しにくい病気ですが、知らぬ間に動脈硬化を進めて脳梗塞の発症に寄与します。心房細動という不整脈は心臓内部に血栓を作りやすく、その血栓が脳の血管に流れて詰まると急に脳梗塞を発症する事があり、予防のために後述する内服薬の治療をお勧めします。

3. 脳梗塞の症状は？

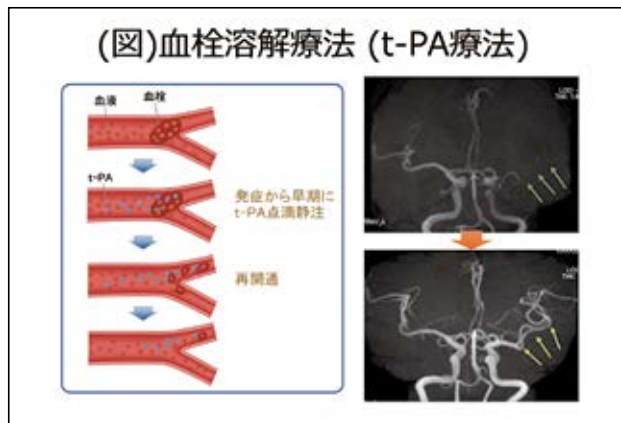
以下のような症状が出た場合には一刻も早く専門病院へ受診してください。

- ①片方の手足・顔半分の麻痺・しびれが起こる
- ②ロレツが回らない、言葉が出ない、他人のいう事が理解できない
- ③力があるのに、立てない、歩けない、フラフラする
- ④片方の目が見えない、物が二つに見える、視野の半分が欠ける

4. 脳梗塞の治療法は？

抗血栓薬は脳梗塞の発症を予防するために飲む薬です。一般的に「血液をさらさらにする薬」と言われるものですが、動脈硬化が原因の脳梗塞を予防する抗血小板薬と、心臓内の血栓ができるのを予防する抗凝固薬があります。

脳梗塞を発症した場合、発症後4時間半以内に「t-PA」という血栓溶解薬を静脈注射する治療法があります(図)。早い段階で詰まった血栓を溶かして血流を再開できれば、脳細胞は破壊を免れて症状が改善する場合があります、できるだけ早く治療を開始する事が重要です。



t-PAが使えない方や、使っても効果が得られない場合には血管内治療(カテーテル治療)を行う事があります。

●減塩のススメ

栄養管理室 管理栄養士 引地 祥平

山形県民は、1日平均10.4gの塩分を摂っているとされています(平成28年山形県 県民健康・栄養調査)。全国平均は9.9gであり、山形県は全国平均より多く摂取しています。塩蔵の保存食や漬物をよく食べることも要因のひとつです。

では、1日の塩分量はどれくらいにすればよいでしょうか。高血圧症や心疾患など治療が必要な人は1日6g未満、健康な人でも男性8g未満、女性7g未満が勧められています。「塩分6g」は、食塩で小さじ1杯程度の量です。また、調味料だけではなく、食材自体に含まれる塩分も考慮する必要があります。

そこで、普段の食事を減塩するためのポイントを紹介します。

①味噌汁の食べ方

味噌汁1杯あたり2gの塩が含まれています。毎食食べている方は回数を減らし、お茶や牛乳などに変えてみましょう。また、汁椀を小さくする、野菜やきのこなどで具沢山にすることも汁の量が減るため減塩になります。

②漬物、加工品の食べ方

漬物や練り物など加工品は、食材を加工する際に塩が入っています。漬物であれば浅漬けにする、小皿に少量を盛り付けて食べる、食べる回数を1日1回までとするなどしましょう。

③調味料の使い方

しょうゆをかける場合は味を確かめてから、かけ過ぎに気をつけましょう。また、かけて食べるのではなく、調味料を小皿にとり、それにちょこっと付けて食べるようにしましょう。減塩しょうゆやだし割りしょうゆなど塩分の少ない調味料を利用するのも良いでしょう。

減塩は毎日の食事で行っていくことが大切です。できるところからすこしずつはじめてみましょう。

【お知らせ】これからの県民健康講話

入場無料・申込不要です。どうぞお気軽においでください。

回数	月日	時間	場所	担当科
第23回	31年6月29日	午後2時～3時30分	遊学館(3階第一研修室)	循環器内科
第24回	31年7月20日	//	山形市医師会館(4階大ホール)	消化器内科※
第25回	31年8月24日	//	天童市健康センター	未定

※消化器学会と共催

ロビーコンサートについて

県立中央病院では、毎月1回、1階ロビーにてコンサートを開催しております。和楽器演奏やJAZZなど様々なジャンルのコンサートを行っておりますので、「少し覗いてみようかな・・・」と興味のある方は、是非ご来場ください。お待ちしております。

開催日：原則 毎月第3水曜日 午後5時15分～午後6時

出演者により日時は変更になる場合もあります

場 所：山形県立中央病院 1階ロビー



2018.7/山形県立保健医療大学音楽授業履修生の皆さん



2018.4/コール・ボラーノ



2019.1/りひうさ☆



2018.6/加藤マチャアキさん
絢音さん



2018.9/尺八寺風会



2018.10/後藤直美さん
石井美保子さん



2018.11/那須尚平さん
斎藤菜さん



2018.8/大野和圭さん



2018.5/男声合唱団ハミングバース



2018.12
山形ベルの会アンサンブル「チェリー」



2019.3/Allegria Brigata



2019.2/Gokumis Unit4

♪ 出演者を募集しています ♪

病院で準備できるもの：マイク2本（ワイヤレス1、有線1）、ワイヤレスアンプ、
スピーカー、グランドピアノ1台

そ の 他：①ボランティアで出演いただける方に限ります

②出演月について、ご希望にそえない場合があります

③演目について相談させていただく場合があります

「看護の日」を知っていますか？

看護部自治会会長 三浦 久美子

21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を育むきっかけとなるよう、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日を「看護の日」と、1990年に旧厚生省により制定されました。

当院看護部では、正面玄関にナイチンゲール像を設置し、正面玄関と各フロアにアレンジメントフラワーを飾ります。また、5月9日(木)には、「看護の日」のイベントとして以下の通り行います。県民の皆様に、楽しんでいただけるように企画してお待ちしておりますので、お誘いあわせの上、ぜひご来場ください。また、会場にいる看護師にお気軽にお声をかけてください。



日 時：2019年5月9日(木) 10時～14時

場 所：山形県立中央病院 2階講堂

テーマ：熱中症対策

【展示コーナー】 看護師の子供たちが書いた絵や作文の展示
熱中症についてのポスター

【測定コーナー】 骨密度、血管年齢、肌年齢
IN BODY (筋肉量・水分量・体脂肪測定)

【体験コーナー】 OS-1の試飲など

がんサロン「ひだまりカフェ」

地域医療部 看護主査 がん相談支援センター がん相談員 稲村 みどり

皆さんは正面玄関のオレンジ色ののぼり旗に目を止めたことはありますか。「がん相談支援センター」をお知らせするためののぼり旗です。「がんのことひとりで悩まず話してね」「あなたのそばに」と記されています。『がんは万が一ではなく、二分の一』等の言葉をテレビやラジオで見聞きするようになりましたが、やはり心配な病気のひとつであることに変わりありません。もし、がんと診断された治療をしていく経過で心配な事・不安な事があり誰かに話をしたくなったら、ちょっとがんサロンを覗いてみてください。



い つ：毎月第2金曜日 14時～15時
どこで：9階東がんサロン（常設）
○飲み物やお菓子を食べながら
○予約不要、どなたでも
○ここでの話は口外しません

当院のがんサロン「ひだまりカフェ」は、ひだまりのように暖かく穏やかな場の提供をしたいと考え開催しています。患者さんやそのご家族の悩みや体験などを語り合い、情報交換をする場です。医療者からのミニ講座や参加者同士のおしゃべりを通し、普段胸にしまっていることを口にすることで、気持ちを軽くできるようお手伝いをします。また、サロンではがんを体験した人やその家族がピア（仲間）として「体験を共有し共に考えること」で支援してくれています（ピアサポーター）。

問い合わせ先：がん相談支援センター 023-685-2757(直通)

※個別での相談の問い合わせも上記にどうぞ

外来診療案内

当院を受診する時は

初めて受診される方は、総合受付（初来院受付）に**診察申込書**と**問診票**及び**紹介状**（紹介状をお持ちの方）を提出のうえ、受付してください。なお、総合窓口受付開始時間までは**番号札をとってお待ちください**。

再来の方は、予約の有無に関わらず、**再来受付機**で受付してください。受付票と診察券を受け取り、各科外来ブロック等にお越しください。（再来受付機は、午前7時45分からご利用になれます。）

保険証は・・・

診察の都度、総合受付（再診受付）又は、各科ブロック受付に**必ずご提示**ください。住所・電話番号が変わった時は、必ず申し出てください。**保険証のご提示がないと全額自己負担になります。**

紹介型外来について

現在、当院においては、一部診療科の外来診療の初診について、【紹介型外来】による医療提供を実施しており、緊急の場合を除いて、紹介状をお持ちの方のみの受付に限らせていただいております。

→ 初診の際に紹介状が必要です…眼科、歯科口腔外科（水曜日、第1・3金曜日）、泌尿器科、産科、耳鼻咽喉科（水曜日）

→ 婦人科を受診される際は、FAX 予約が必要です。
FAX 023(685)2606

非紹介患者初診加算料及び再診加算料について

他の保険医療機関からの紹介がなく、直接当院へ来院された患者さんは、初診に係る費用（非紹介患者初診加算料）として5,000円（税含む）を頂いております。また、当院から他医療機関（大病院を除く）への紹介の申し出後に、当院を受診した患者さんからは「再診加算料」として、2,500円（税含む）を頂いております。

※緊急入院等の場合は除きます。

外来診察に係る再来患者さんの電話予約及び予約変更については、医療相談支援センターで受け付けております。

TEL 023(685)2620（13時～16時）

「かかりつけの先生」からのFAX 予約も受け付けております。待ち時間も少なくてすみしますので「かかりつけの先生」にご相談ください。

FAX 023(685)2606

平日/8時30分～18時

土曜/8時30分～14時30分

初来院受付時間

午前8:00～11:30

ブロック	診療科	診療曜日
A	内 科	月 火 水 木 金
	呼 吸 器 内 科	※ 火 ※ ※ 金
	血 液 内 科	※ ※ ※ 木 ※
	糖尿病・内分泌内科	※ ※ 水 ※ ※
	循 環 器 内 科	月 火 水 木 金
	消 化 器 内 科	月 火 水 木 金
	感 染 症 内 科	第3月曜日のみ
	腫 瘍 内 科	※ ※ 水 ※ ※
B	整 形 外 科	月 火 水 木 金
	眼 科	月 火 水 木 金
	歯 科 口 腔 外 科	月 火 水 木 金
C	脳 神 経 外 科	月 火 水 木 金
	泌 尿 器 科	月 火 水 木 金
	心 療 内 科	月 火 水 木 金
	脳 神 経 内 科	月 火 水 木 金
D	産 婦 人 科	月 火 ※ 木 金
	耳 鼻 咽 喉 科	月 火 水 木 金
E	小 児 科	月 火 水 木 金
	小 児 外 科	火(午後)・金(午後)
	皮 膚 科	月 火 水 木 金
	形 成 外 科	月 ※ 水 ※ 金
F	外 科	月 火 水 木 金
	呼 吸 器 外 科	※ 火 水 ※ 金
	乳 腺 外 科	月 火 水 木 金
	心 臓 血 管 外 科	※ 火 ※ ※ 金
	麻酔科・ペインクリニック	月 ※ 水 木 ※
	緩 和 医 療 科	月 ※ ※ 木 金
放射線科	放 射 線 科	月 火 水 木 金

※は休診日です。受付しておりませんのでご注意ください。
心療内科(月～金曜日)、麻酔科・ペインクリニック(水曜日)、泌尿器科(火曜日)、脳神経内科(火曜日)は予約診療のみ。

募集のお知らせ

- 臨時看護師 ● 看護補助者
お問合わせ先：山形県立中央病院 看護部長室
TEL：023-685-2626（代）
- 調理師
お問合わせ先：山形県立中央病院 栄養管理室 佐藤
TEL：023-685-2626（代）